

# 会計の仕組み

## 貸借対照表

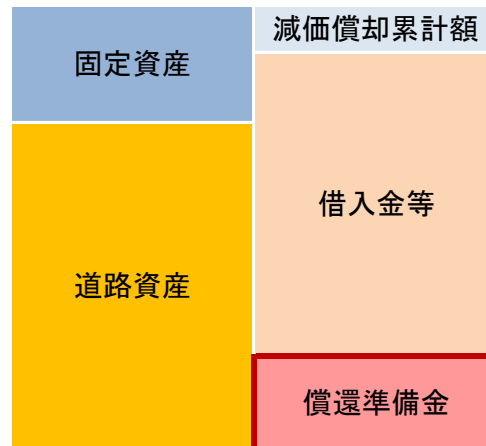
### 建設時点

建設資金は借入金と県出資金で賄われ、建設した資産は道路資産と固定資産に区分し計上している。



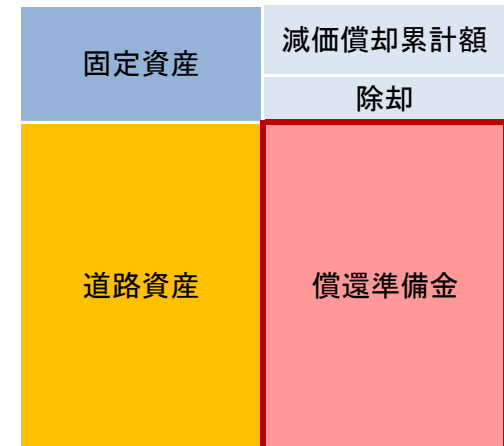
### 供用中

利益相当額を償還準備金に積み立てる。また、料金収入の10% (川平12%)を損失補てん引当金に引き当て、災害等不測の事態に備えている。

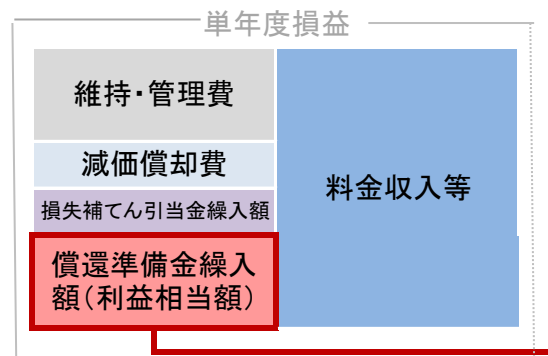


### 料金徴収期間満了時点

固定資産の残存価格を除却したうえで、償還準備金を道路資産と同額まで積み立て、無料開放となる。



## 損益計算書



積み立て

### ※ 償還準備金

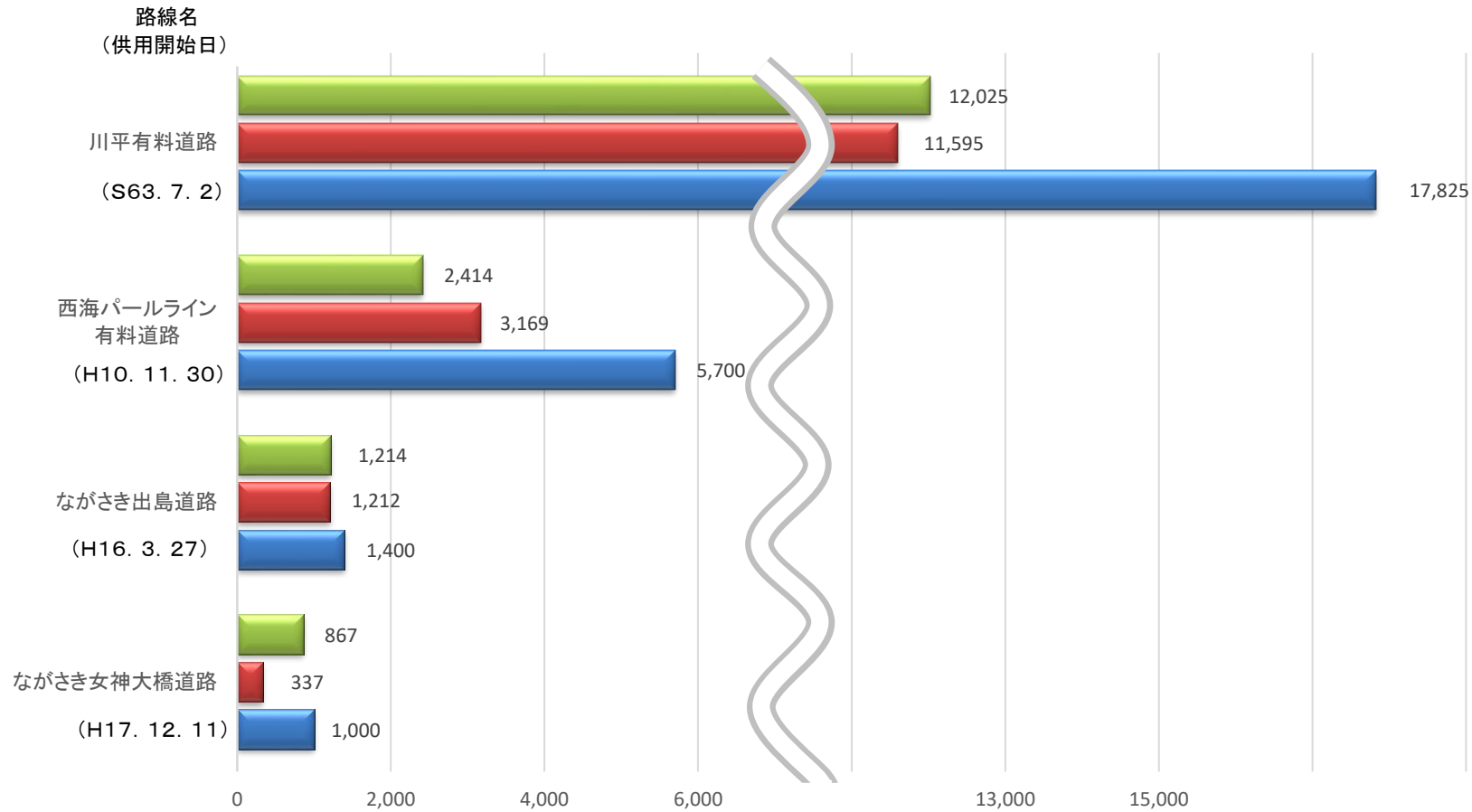
路線毎に積み立てを行い、他路線への充当は不可

### ※ 損失補てん引当金

路線全体の内部留保資金であり、料金徴収期間満了時点で、償還準備金が道路資産額まで積みあがらなかった場合に充当

# 償還準備金の計画と実績(令和元年度)

(単位:百万円)



※指標を単純化するため、建設費と比較している。

R1年度償還準備金合計額  
 計画 : 16,313百万円  
 実績 : 16,520百万円

■実績 ■計画 ■建設費